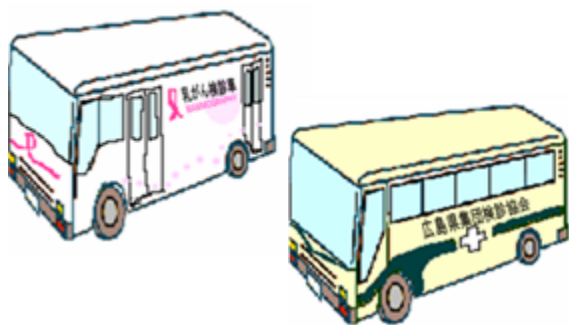


特定健診・特定保健指導 のご紹介



⌘健診に関する法律が変わります⌘

病気の早期発見から予防・改善を目的とした健診へ

平成20年4月から施行される「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、特定健康診査(以下、特定健診という)・特定保健指導が始まります。この健診では、健診結果と質問票から、生活習慣病の発症リスクに応じた階層化を行います。階層化により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者とその予備群を選定し、予防と改善に向けて保健指導を実施します。

特定健診と労働安全衛生法健診項目

対象		労働安全衛生法		特定健診	
		全労働者			
		【現在】	【改定後】	40歳～74歳までの全国民	
診察など	問診(既往歴および業務歴の調査)		○	○	○
	(喫煙歴および服薬歴)			○	○(問診に含まれる)
	身体測定	身長	●1	●1	○
		体重	○	○	○
		腹囲		●2	○
	視力		○	○	
	聴力		○	○	
	自覚症状及び他覚症状の有無の検査		○	○	○
	血圧		○	○	○
	胸部エックス線検査		○	○	
喀痰検査		□1	□1		
貧血検査	ヘマトクリット				□
	血色素量		●2	●2	□
	赤血球数		●2	●2	□
肝機能検査	GOT		●2	●2	○
	GPT		●2	●2	○
	γ-GTP		●2	●2	○
血中脂質検査	血清総コレステロール		●2		
	血清トリグリセライド		●2	●2	○
	HDLコレステロール		●2	●2	○
	LDLコレステロール			●2	○
血糖検査	空腹時血糖		●2	●2	■
	ヘモグロビンA1c		□2	□2	■
尿検査	蛋白		○	○	○
	糖		●3	○	○
	潜血				
心電図検査		●2	●2	□	
眼底検査				□	

- (注) ○ 必須項目
 □ 医師の判断に基づき選択的に実施(40～74歳)
- 1 胸部エックス線検査により病変および結核発病のおそれないと診断された者について医師の判断に基づき省略可
- 2 血糖検査については、ヘモグロビンA1cで代替可
- いずれかの項目の実施で可
- 1 20歳以上の者については、医師の判断に基づき省略可
- 2 35歳および40歳以上の者については必須項目(それ以外の者については、医師の判断に基づき省略可)
- 3 血糖検査を受けた者については、医師の判断に基づき省略可



✿メタボリックシンドロームに着目する理由✿

厚生労働省の調査によると、お腹周りに脂肪のつく内臓脂肪型肥満に加え、脂質異常症、高血圧、高血糖の危険因子を複数併せ持つメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の者と予備群の者は、40～74歳の男性の半数、女性の2割といわれています。

生涯にわたる生活の質の維持向上のためには、脳血管障害、心疾患、糖尿病性腎症などの重大な病気の原因となる糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の、予防や改善が重要です。

そこで、40歳～74歳のすべての人を対象に、メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした健診と、保健指導が実施されることになりました。

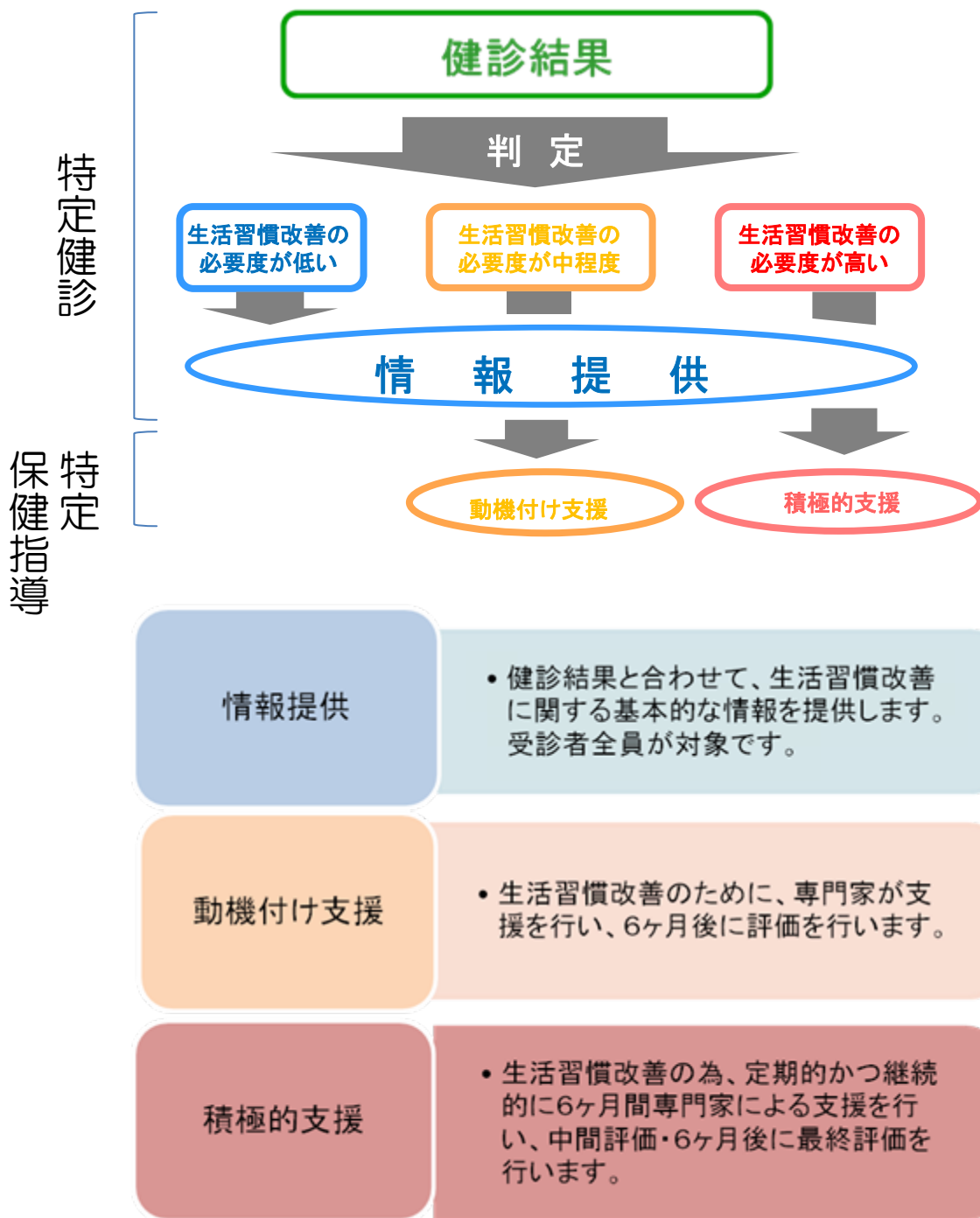


新しい制度を活用し、

生活習慣病を予防しましょう。

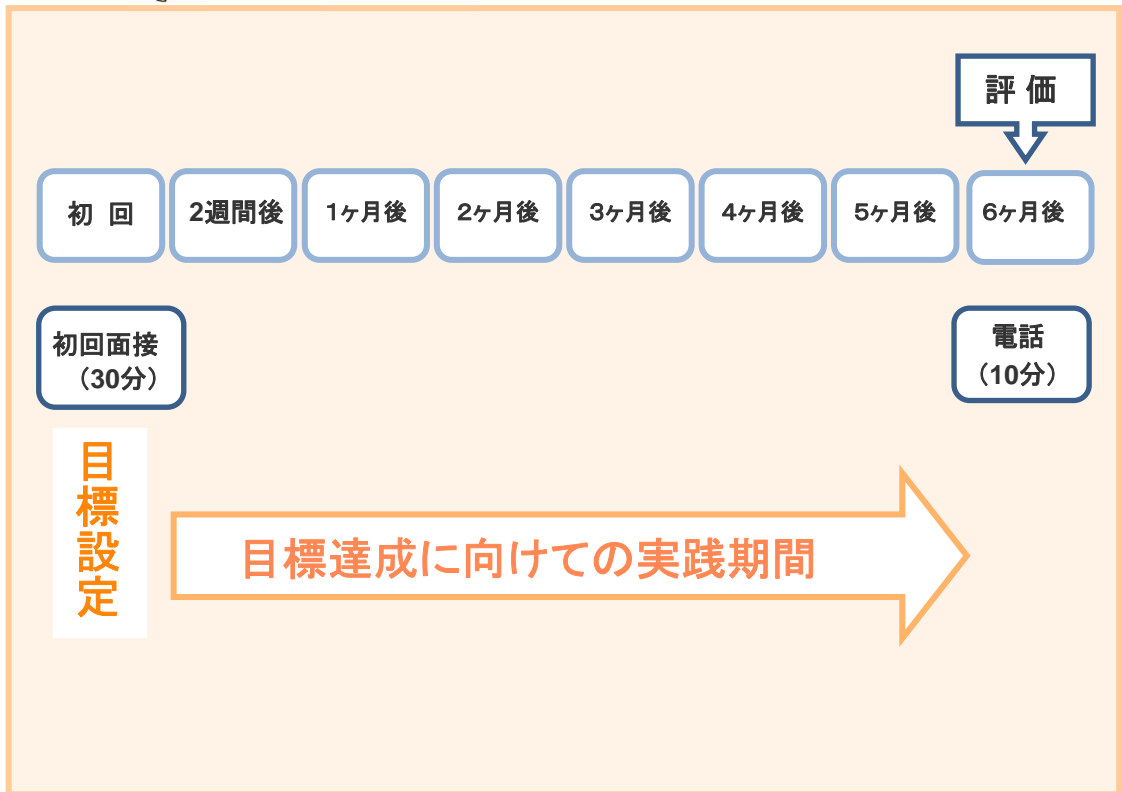
⌘特定健診から特定保健指導への流れ⌘

以下のように健診結果を階層化し、保健指導の対象者を選定します。



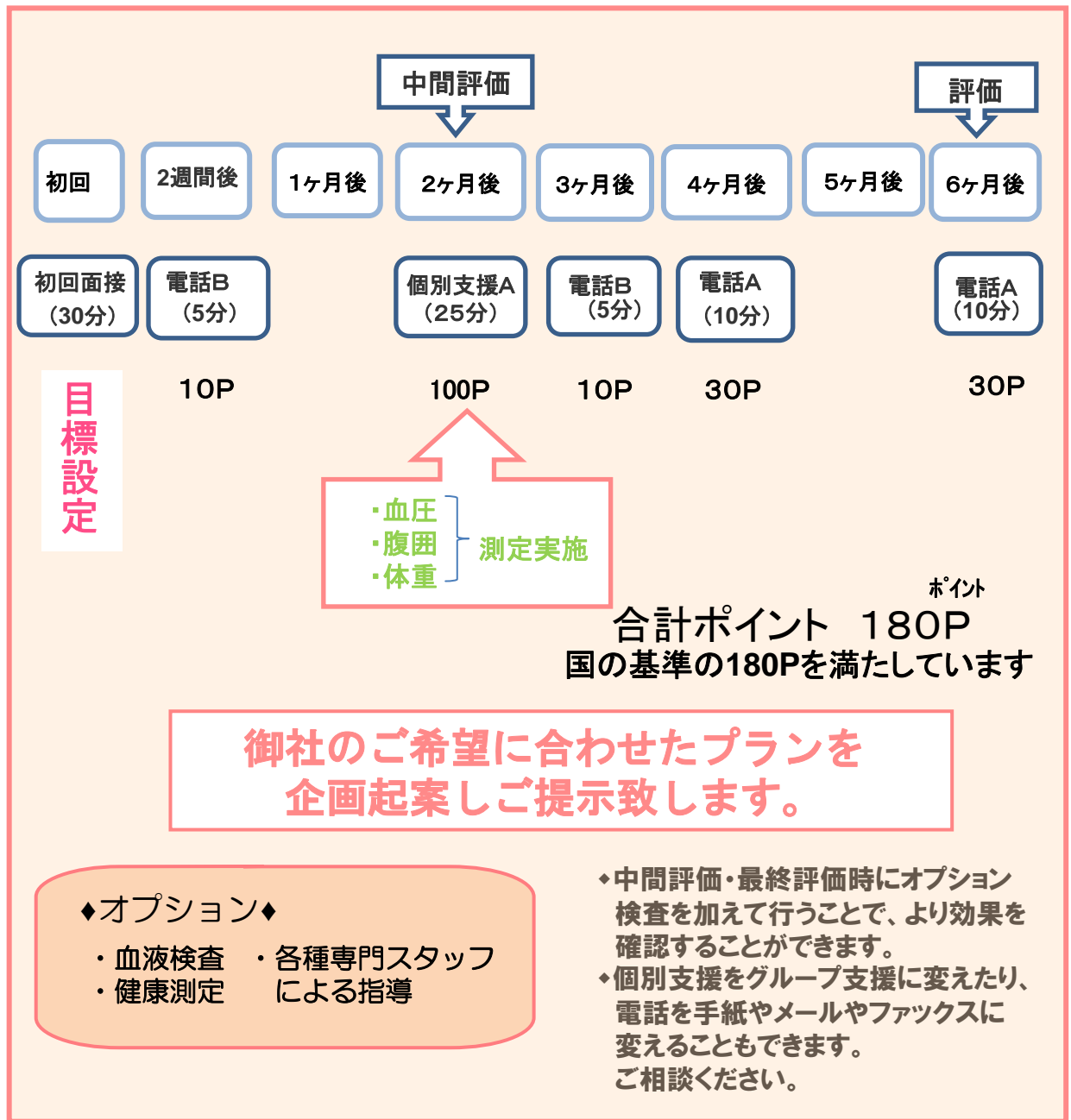
⌘ 特定保健指導 ⌘

❖ 動機付け支援 ❖



御社のご希望に合わせたプランを
企画起案しご提示致します。

❖ 積極的支援 ❖



👉 お問い合わせは (財) 広島県集団検診協会 保健師グループまで

☎ 082-248-4140

✉ mail : kenkou@mdx-h.or.jp

🌐 URL : http://www.mdx-h.or.jp/